

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名称		コード	名称
事業名	412	児童福祉一般経費	会計	01	一般会計
基本施策	8	子どもを生み育てやすい環境をつくる	款	03	民生費
			項	04	児童福祉費
			目	01	児童福祉総務費
担当部課名	大山田支所 健康福祉課		細目	101	児童福祉一般事務経費
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	細々目	01	児童福祉一般事務経費
		47-1151(内線220)			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	児童及びその保護者	成果(どうなるのか)	経済的負担の軽減を図る
	・経常的経費(児童福祉に係る一般経費) ・児童手当、児童扶養手当及び特別児童扶養手当の申請受付			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
				児童手当法、児童扶養手当法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律 他各同施行令、各同施行規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	9	31	28
	消耗品	9	31	321
				27
				35
合計(A+B)		1,449	1,471	1,468
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源	1,449	1,471	1,468	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
児童手当申請件数	件	37	40	40			
児童扶養手当申請件数	件	5	3	3			
特別児童扶養手当申請件数	件	0	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
児童手当申請件数	子どもを生み育てやすい支援制度であり、少子化対策に有効	件	37 目標 ()	40	40
児童扶養手当申請件数	母子家庭への支援制度あり、自立支援に有効	件	5 目標 ()	5	5

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

制度についての周知の徹底

評価	必要性	4	事業の現状維持。 児童福祉事業にかかる事務的経費であるので、必要な経費である	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A